

次の各文の傍線部について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで答えなさい。

- (1) 台風へのケイカイを強める。
- (2) ショッキを洗って片付ける。
- (3) 彼は命のオンジンだ。
- (4) 父にカタグルマをしてもらう。
- (5) 花の香りが部屋にミちる。
- (6) 大きなニュースに仰天した。
- (7) 腕章をつけた生徒会の人たち。
- (8) 猛獣が獲物をねらっている。
- (9) 批判の矛先が向いてしまう。
- (10) 日が西に傾いた。

二

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、本文を省略または変更している箇所があります。)



問一 傍線部①「経済成長へとつなげた」とあるが、次の文の（ ）に当てはまる言葉を本文中から十二字で抜き出しなさい。

日本の経済成長の要因は（ ）である。

問二 傍線部②『おもしろそうだから』『やってみたいと思ったから』などの理由でビジネスや社会活動を始める若い世代のひとたちが増えているのです」とあるが、このような人たちが増えている要因は何か。筆者の考えを最も端的に表している一語を本文中から抜き出しなさい。

問三 傍線部③「ポジティブな風潮」とあるが、この風潮の具体例として当てはまらないものを次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 北京五輪でフィギュアスケート男子に出場した羽生結弦選手が、けがで体調が万全の状態ではなかったにもかかわらず、前人未到の「クワッドアクセル（四回転半ジャンプ）」にチャレンジした。その結果、転倒した羽生選手に対して客席からは惜しみない拍手が湧きあがった。

(イ) 北京五輪スノーボードビッグエア女子で、世界初となる「トリプルコーク（縦三回転）」に挑戦し、いったんは着地したがバランスを崩して転倒した岩渕麗菜選手に対して、各国のライバルたちが駆け寄り、彼女の健闘を心から称えた。

(ウ) 北京五輪スノーボードハーフパイプで、平野歩夢選手が1440（三回転）を三度も飛ぶ史上最高難度の構成を成功させて金メダルに輝き、ライバルの外国選手が自分の敗北にもかかわらず祝福していた。

(エ) 東京五輪卓球混合ダブルスで金メダルを獲得した水谷隼選手に対して、とある国から中傷するメッセージが届いたものの、「俺の心には1ミリもダメージない。それだけ世界中を熱くさせたのかと思うと嬉しいよ」と世界に前向きなメッセージを出した。

(オ) 東京五輪男子体操で、それまで絶対的エースとして君臨していた内村航平選手が鉄棒で失敗したとき、会場でそのチャレンジ失敗に対してブーイングが起こるどころか、チャレンジしたことへの称賛の拍手が送られた。

問四 傍線部④「そんなひとたち」とはどのようなひとたちか。本文中から十一字で抜き出しなさい。

問五 傍線部⑤「文化」とあるが、この言葉を本文中の別の言葉で言い換えたとき、最も適当な言葉を一語で答えなさい。

問六 傍線部⑥「ひとが変化する要因を環境の変化にだけ求めるのはちがう気がします」とあるが、それはなぜか。五十字以内で説明しなさい。(句読点も字数に含む)

問七 傍線部⑦「創造的な人生」とあるが、それはどのような生き方のことか。最も適当なものを次の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- (ア) 上から与えられた目標を共有し、仲間とともに創意工夫をしながらその達成に向けて努力する生き方。
- (イ) 社会のためになることを目標として設定し、よりよい世界を作っていくために仲間たちと協力して目標達成をしていく生き方。
- (ウ) 自らおもしろいことや楽しいことを考え、仲間を作って同じ目標を達成することを目指す生き方。
- (エ) 自分から今の時代に求められている正解を考え、仲間とともにその答えを導いていこうとする生き方。
- (オ) 自分の得になることを最優先し、そのために目標設定をして工夫しながら問題解決をしていく生き方。

問八 (I) (II) に入る接続語をそれぞれ次から選び、記号で答えなさい。

- (ア) しかし
- (イ) または
- (ウ) つまり
- (エ) 例えば
- (オ) すると